

平成 26 年 10 月 20 日

各 位

会社名 株式会社ビー・エム・エル  
代表者名 代表取締役社長 近藤 健介  
(コード番号:4694 東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 山下 勝司  
(TEL 03-3350-0111)

## 家族性高コレステロール血症の診断と治療に関する検査法の 共同開発について

当社は、家族性高コレステロール血症（FH）の原因となる PCSK9 蛋白質の血中濃度を測定するサンドイッチ ELISA 検査を、独立行政法人国立循環器病研究センター研究所（理事長：橋本 信夫、所在地：大阪府吹田市、以下「国立循環器病研究センター」）との共同研究により、開発しましたのでお知らせいたします。

### 記

PCSK9 蛋白質は血中では LDL 受容体分解活性を有する「成熟型 PCSK9」とプロセッシング酵素 furin により切断され、LDL 受容体分解活性の低い「切断型 PCSK9」として存在することが知られていましたが、これまで両者を分けて測定することができず、PCSK9 蛋白質が 2 つの異なる形で存在する臨床的意義も判っていませんでした。

我々の開発により成熟型と切断型の PCSK9 の測定が可能となり、これらの生体における意義、特に高脂血症との関わりを明らかにできるようになりました。今後、PCSK9 分子抗体薬などの高脂血症治療薬の薬効機序の解明や効果の予測に利用されるものと考えられます。

我々の開発した PCSK9 蛋白質定量検査は、血中 PCSK9 の「成熟型 PCSK9」と「切断型 PCSK9」をそれぞれ別々に定量します。PCSK9 は、生体で血中コレステロール量を調節する肝臓の LDL 受容体の分解に関わる蛋白質で、FH の原因の一つであることが明らかにされています。なお、この測定法は特許出願中です（特開 2012-237752）。

この研究成果は、当社と国立循環器病研究センター病態代謝部の斯波 真理子部長、堀 美香研究員らとの共同研究によるもので、専門誌「The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism」オンライン版に 10 月 15 日付で発表いたしました。

以上

(本件に関するお問い合わせ)

株式会社ビー・エム・エル 経営企画部

TEL : 03-3350-0111

E-mail : [ir-info@bml.co.jp](mailto:ir-info@bml.co.jp)